

一声社：TEL03-3812-0281/FAX03-3812-0537

今日は何の日？ 7月10日

ウルトラマンの日……19665年のこの日、TBSで放送開始。

ああ、男子寮—新歓コンパ編

「奈良の皆さん、今晚は！」

4月早々のある夜、ヨネやんは山焼きで有名な若草山の頂上に立っていた。新1回生の男子寮生全員と一緒に。山の頂上まで全員で歩いて上り、「まずは、景気づけや！」と日本酒をコップで1杯ずつ(成人も数人いたがほぼ未成年。皆様は決して真似しないよう)。

「よお～し！ 奈良の皆さんにご挨拶せんかい！1人ずつ、前に出え」

「しょうもない自己紹介すんなよ。一芸やって、笑わせろや。ヨネ、トップバッターや！行け！」

なぜか、早速名前を覚えてもらった有難さに身も心も震えます。

身を挺した自虐的一発ギャグをかましつつ、自らの芸へのウケがどの程度か、気になります。後から芸を披露する他の新入生よりもウケたかどうか—それは、大学生活の今後を占う重要な指標となるであります。

全員が奈良市民へのご挨拶を終えた後、「よお～し！ 寮歌や！」。全員で輪になって肩を組み、今後何十回と歌うことになる寮歌を、1番から3番まで歌いあげます。もちろん、新歓コンパ当日までに寮歌の歌唱指導があり、「ええか、コンパまでに全員歌えるようになってけよ。楽しみやなあ～新歓コンパ」と優しい指導もあったわけです(先輩の「優しい目」に恐れおののいて、寮から居なくなった新入生は1人や2人ではない)。

「これから、寮まで走って帰るぞ！ 競争や。えっ？道が分からん？ 安心せえ、有難い先輩方が、あちこちの道に立ってるからな」

景 景気づけに日本酒をまたまた飲み干す。山の頂

に来てから、かれこれ3～4杯目？ 「大丈夫かいな……」と心配になったその時です。

「スタートや！」と、突然の号砲！

「しもた！出遅れた！」—ヨネやんは、猛然と走り出します。日本酒をコップであおった上に、いくら低い山とはいえ山のてっぺんから駆け下りるのです。

「あかん、目え回って来た。暗いし、足がだるいし、どっちに行ったらええんか、わからん」

その時、大声がしました。「こっちや、右に曲がれ！」。なるほど、道の要所要所に懐中電灯を持った先輩達の姿が！

「今何番目くらいやろ？ 出遅れたけど、結構抜いたような気が……」。その時です。天の声か、地獄の音が……。

「ヨネ！ お前、5番目やぞ。1番を狙わんかい！」。その声で目覚めたヨネやんは、猛然とピッチを上げ、さらに2人を抜いて、寮の食堂になだれ込みます。

「よっしゃ！ようやった。お前は、銅メダルや」……3位やったか、良かった、でも、もうアカン。ふらふらや～。もう寝たい——食堂の床に転がって寝ていたヨネやん。突然、先輩に叩き起こされます。

「いつまで寝とんねん！ 全員帰って来たぞ。よっしゃ！今から新歓コンパを始めると！」

えっ？今からコンパなん？ ほな、今までの奴は何やったん？

そんな疑問も、その後の修羅場の中で氷解し、1回生は次々に部屋に運ばれていったのであった。今なら間違いなくネットで炎上&テレビニュースネタになるであろうこの修羅場は、ヨネやんが大学を卒業するまで、微動だにすることなく、ほぼ毎月と言って良い頻度で、粛々と続いていったのであった。

ゆめゆめ真似する事勿れ。